

番匠免の大般若経祭り



■ 種別

無形民俗文化財

■ 指定年月日

市 平成 11 年 4 月 21 日

県 平成 10 年 3 月 17 日

■ 開催場所

こうしょういん しんめい
迎攝院・神明神社

(番匠免 1-127-1)

■ 開催日

7 月 8 日付近の土曜日

むびょうそくさい えきびょうたいさん

無病息災・疫病退散を祈念して、迎攝院と神明神社で行われる神仏習合の祭礼です。

祭礼当日の朝、迎攝院の住職が神明神社に入り神前で大般若経全 600 巻を転読てんどくします。

転読後、経典を 6 つの木箱に入れ、町内の家を巡り、各家の玄関に木箱を叩きつけます。

休憩する家では、休む前に木箱に群がり、「番匠免甚句」と呼ばれる歌を歌います。歌い終わると、木箱に結んである縄が切れるまで地面にこすりつけます。この動作は、「揉む」と呼ばれ、切れた縄は、魔除けとして各家で軒先や玄関先に取り付けられます。